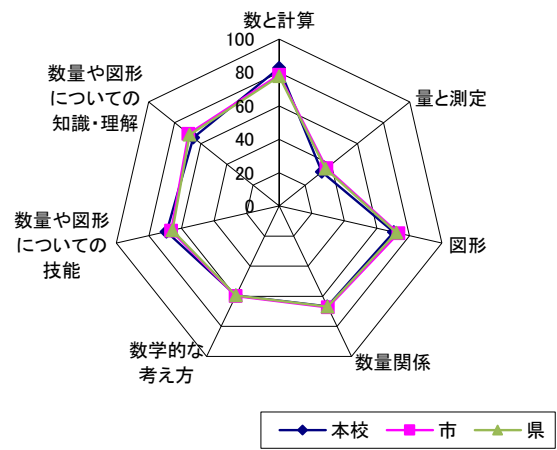


宇都宮市立富屋小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	82.7	78.6	77.7
	量と測定	32.7	36.3	35.7
	図形	70.5	73.3	72.1
	数量関係	66.7	67.4	66.9
観点	数学的な考え方	59.5	59.9	59.4
	数量や図形についての技能	69.1	66.3	65.5
	数量や図形についての知識・理解	65.8	69.4	68.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○全体的に市や県の正答率を上回った。特に四則計算の設問の正答率は良好だった。 ●「小数と整数の中から一番大きい数を選ぶ」設問や、四捨五入の問題は、市や県の正答率を下回った。	・朝の学習や家庭学習での計算問題の反復練習が効果を表してきているので継続していく。 ・少人数指導担当教諭と連携し、1人1人の学習の実態に応じて課題の難易度を変えていくなど、きめ細やかな指導の充実を図る。
量と測定	○活用力を問う問題は市や県の正答率を上回った。 ●「1平方メートルの正方形は1平方センチメートルの正方形何枚分かを求める」や「教室の机のおよその面積を推測し選ぶ」設問は市や県の正答率を下回った。	・授業の中で、基礎的な内容について習熟を図るとともに、学習した内容と日常生活を関連付けて考えられるよう声をかけ、学習したことを生活の中で生かすことができるよう支援していく。
図形	●「与えられた2辺の続きをかくて、平行四辺形を完成する」設問は、市や県の正答率を大きく下回った。	・朝の学習や家庭学習プリント等で反復練習することを通して、作図の手順や道具の使い方に慣れさせるとともに、基礎的な内容について習熟させる。
数量関係	○「図や表から変わり方を考え、表にあてはまる数を求める」設問や、2次元表の空欄を考える設問は市や県の正答率を大きく上回った。 ●式の考え方を説明するなど、少し複雑な活用力を問う問題では、市や県の正答率を大きく下回った。	・複雑な問題について、設問の内容を正しく読み取れるよう、分かっていることや求めることを整理したり、図に表したりするなど解決の手順を少しずつ考えていけるよう支援していく。 ・友達の考えを聞いたり自分の考えを説明したりする場を多く設け、考えを適切に表現できるようにしていく。